

種名	マ ツ モ ム シ <u>Notonecta triguttata</u> 
分類	カメムシ目マツモムシ科
形態的な特徴	背面は淡黄褐色で黒色の斑紋が入り、丸みを帯びていて舟底のようなのだが、腹面は平らである。複眼が発達していて大きい。後脚が長く発達している。呼吸管はなく、腹部末端から空気を取り入れ腹側に生えた空気を蓄える。胸部には臭腺があり、強く押さえたりすると臭気を発する。
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。
繁殖行動	光を感じる方向に腹側を向ける習性があり、いつも背泳ぎのような恰好をしているのが特徴。繁殖期は 4～5 月頃、水草や落ち葉などに卵を産みつける。卵は約 10 日ほどでふ化し、幼虫は 5 回ほど脱皮を繰り返し成虫になる。
生息場所	水田や池沼、水溜まりなどの止水域に生息し、水生植物などが少ない水域でもよくみられる。
食性	昆虫や小魚、オタマジャクシなどを捕らえ、針のような口吻で体液を吸う。
生息環境への配慮事項	幼虫も成虫も生きた小動物を餌とすることから、これらが豊富に生息している水域が必要になる。また、幼虫の間にすみかとして、水生植物の繁茂した止水域も必要である。
その他	
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	